

おおどり



すすんで学ぶ子
第 7 号

あかるく健康な子
令和 4 年 9 月 2 2 日

しんせつで優しい子
文責 小暮晴彦

電話
22-2120
FAX
22-2709
ホームページ
青鳥小学校

引き渡し訓練 ありがとうございます!



第2学期が始まって2日目の9月2日(金)は、雨の降る中、**引き渡し訓練**のために歩いてお迎えに来てくださり、誠に**ありがとうございます**。

コロナ禍となってから、3密を避けるために実施を見合わせていましたが、最近「異常気象」という言葉が使われなくなったほど地震や豪雨などの災害が多く起きていること、コロナ禍の生活も3年目となり工夫の仕方が見えてきたこと等から、今回実施することにしました。

災害が実際に起こった時、状況によっては、学校が避難所になるかもしれませんし、3.11東日本大震災の時のように校舎内にいることの方が危険である場合もあります。保護者の皆さんが職場等から子供達を迎えに来ることができない場合もあるでしょう。いろいろなことが考えられますが、今回の訓練は、子供達が学校で迎えを待つパターンで計画しました。**各ご家庭で、「こんな時は、**

こうしよう」と決め事を話し合うきっかけにしていれば幸いです。

「自分の命は、自分で守る」ことのできる賢い子供達を育てるため、今後ともご理解・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

10月19日(水) 開校記念日 青鳥小学校 40歳

昭和57年(1982年)に開校した青鳥小は、10月19日(水)で40歳を迎えます。開校して3年後の昭和60年(1985年)に校舎南側の「すあし川」が完成し、本校の特徴である「すあしの教育」が本格的になりました。当時は、「流れる川」と呼ばれていました。校歌の中に「今日もかけ足 すあしのなかま」という歌詞があります。コロナが終息したら、また「すあしの生活」を再開します。(開校記念日は、授業日です)

子供の言葉半分 (コミュニケーション能力)

もう10年以上前、私(小暮)が特別支援学級の担任をしていた頃のことです。おとなしい男の子A君のお母さんが、「うちの子が仲間はずれにされて、『学校へ行きたくない』と泣いてま



す。何とかしてください。」と、えらい剣幕で訴えて来ました。
実は、私はA君の姉(通常の学級)の学年を5年生・6年生と担任し、卒業させてからA君の担任になりました。姉の担任ではなかったものの、そのお母さんからは軽度発達障害のあるA君のことで相談を受けていたので、**互いに話しやすい関係**ではありました。

お母さんのお話からは、交流学級の生活班でトイレ掃除をしている時のことらしく、仲間はずれにした子に謝らせて、二度としないように約束してほしいという内容でした。

とにかく**早急に解決しなければならない**ので、A君の生活班の子供達を集めて話を聞いてみました。班長は元気な男の子で学級でもリーダーシップを発揮しているB君。班員は、お調子者のC君と真面目なDさん、明るくユーモアのあるEさんでした。私は、A君と一緒に交流学級の授業や活動によく参加していたので、子供達のことはある程度分かっていました。『この子達が仲間はずれにするかなあ?』と半信半疑でしたが、まず、班長のB君に「A君が『掃除の時みんなから仲間はずれにされた』って泣いているらしいんだけど、何か心当たりある?」と優しく聞いてみました。すると、B君は『えっ?』と驚いた顔をして泣きそうになってしまいました。それを見たC君が、いつになく真剣な表情で「僕達はA君を仲間はずれになんかしてないよ!」と言いました。いつもはおとなしいDさんも語気を荒げて「してません!」とキッパリ。比較的A君のことを理解しているEさんが「B君、何か勘違いされてんじゃないの?」と冷静に一言。私には4人が口裏を合わせているようには見えませんでした。そして、「A君には何て言ったの?」とB君に聞いてみました。B君は『便器の掃除は大変なので僕がやるから、A君はやらなくていいよ』って言ったんだ!と必死で答えました。「でも、普通の会話でそんなに詳しくやり取りしているかい?」と私が問い直したところ、B君は「してない。」と言いました。もう一度「何て言ったか、よく思い出してごらん。」とB君に聴くと、「たぶん『ここやなくていいから、あっち行って。』って言っちゃったと思う。」と答えました。すかさずEさんが「それだよ、勘違い!」と言って、**謎が解けたようなすがすがしい表情**をしました。



その後、A君とB君は、互いに《勘違いしてしまったこと・言葉が足りなかったこと》について謝り、**今まで以上に仲良くなった**ことは言うまでもありません。A君のお母さんにこのことを説明すると、恐縮しながら「うちの子も言っていることがよく分からないんですね。いじめられたと思ってカッカしちゃって、**恥ずかしいわ。先生、ありがとうございます。**」とおっしゃっていました。とりあえず一件落着。

私が学級担任をしていた時、懇談会で必ず話したのが、この「**子供の言葉半分**」です。純心な子供達は、決して**ウソをついていない**と思いますが、事実と違うことは日常茶飯事なので、**勘弁みにしないこと**です。**未熟な認知能力と未熟な判断力と未熟な表現力**で学校生活を日々送っています。同年代の子供と共に、**いろんな経験や失敗を繰り返しながらコミュニケーション能力を育み、成長して行きます。**それを支え、導いて行くのが大人の役目です。**大人のチームワークがとても大事**なので、これからもよろしくお願いいたします。

虹の架け橋集会(中止)

◆ コロナ禍の前は、たくさんの地域ボランティアの皆様をお呼びして行っていた「虹の架け橋集会」ですが、まだまだ感染状況が良くならないことや地域ボランティアの皆様が比較的高齢の方が多いためなどから、今年も中止することにしました。残念ですが、ご了承願います。

